



続「鍼灸」は「効果」があるのか？

第9回 通電鍼治療のすすめ 2

琉球治療院 関 忠雄

通電治療への質問

以前、琉球治療院のメンバーから通電治療の質問を受け、回答用の動画を作ったことがあります。今回はそのときの質問から通電治療について考えてみます。

質問：低周波治療器（通電器）のお勧めはありますか？

回答：通電治療は神経組織と筋肉組織に同時に刺激を加え身体の回復力を導くためのもので、通電器ならば特にメーカーなどにこだわる必要はありません。同時に使える端子は2端子、4端子、8端子などがありますので、必要に応じて端子数を選ぶといいでしょう。端子数の本数を確認することで鍼の抜き忘れを防ぐことができます。私は「オームパルサー LFP-4000A」を使っています。理由は一番安価だったからです。家内がエステで使っていたヘルスパルスという携帯用の通電器も端子の部分を改造して使っています。これは小さくてとても便利です。

質問：通電時間は何分くらいですか？

回答：通電治療の初期には20分間の通電という例が見

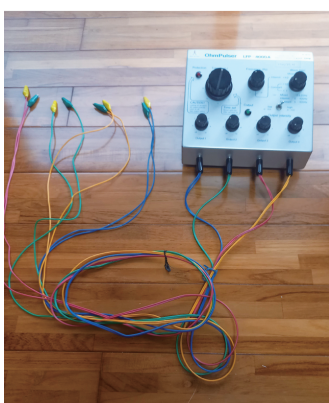


写真1 オームパルサー LFP-4000A (全医療器)



写真2 ヘルスパルス (改造したもの)

られました。ある坐骨神経痛の患者さんで通電は心地よいので時間を長くしてほしいとの希望で20分間通電したことがあります。後でその患者さんに感想を聞いたところ、通電時間が長くなるにつれて痛みが増したそうです。私は現在8分間を基準にしています。

質問：通電治療の適応症例は何ですか？

回答：先日「ギックリ腰」の患者さんに通電治療を施し効果がありました。喘息に苦しむ患者さんにも効果的です。また、コンピューターを長時間見続ける仕事の人で視床下部が疲れ、身体の不調を訴えている方がいます。視床下部には食欲中枢・排尿中枢・性欲中枢などの人間にとって重要な組織があり、通電治療はこの視床下部を刺激できます。自律神経、特に迷走神経の不安定な場合にも通電治療が効果的です。アルゼンチンにいたときに末梢性の顔面神経麻痺の患者さんに通電治療を行って改善を見ることができました。この際、気をつけることは中枢神経による顔面神経麻痺が末梢性の顔面神経麻痺が正確に見分けることです。患者さんに上を向いてもらって「額にシワが

できたら」中枢神経の顔面神経麻痺（鍼では治療が難しい）。「額にシワができなかったら」末梢性の顔面神経麻痺（鍼治療で効果が期待できる）なので施術します。

質問：通電治療に適さない症例、悪化された方はいますか？



関 忠雄 Tadao Seki

- 1949年 長野県生まれ
- 1973年 中央大学法学部卒業
- 1978年 早稲田鍼灸専門学校卒業／倉島宗二師に師事 臨床鍼灸学を研修
関鍼灸治療室を開設
- 2003年 新潟大学医学部第一解剖学教室で末梢神経(自律神経:迷走神経)解剖を研修
- 2005年 佐野動物病院にて獣医学を研修
- 2006年 名古屋市れもん鍼灸接骨院院長
- 2013年 アルゼンチン(F・バレイラ)鍼灸院院長
- 2018年 アルゼンチンから帰国
- 2019年 琉球治療院勤務



写真3 オームパルサー LFP-4000A (拡大図)

たか？

回答：以前、パーキンソン病の患者さんで（DBS：脳深部刺激療法）の手術を受けられペースメーカーをつけていた患者さんがいました。通電器と装着装置の周波数が相互干渉するのではないかと患者さんと家族の方が心配されました。一般的に危険を感じるような治療は避けるべきです。施術者自身による判断は差し控えた方がいいと思います。通電治療の原理を考えその利点と社会的な考えを考慮したためだと思いますが、悪化した事例に遭遇したことはありません。

質問：通電器の基本的な設定方法を教えてください。

回答：オームパルサー LFP-4000A（写真3）の真ん中のボタン Frequency (Hz) が周波数です。通常は1・5 Hzで使っています。ちょうど眠気をさそうような速さが最適です。出力 (Output) は患者さんの様子をつかがいながら決めます。

質問：高齢者への危険性はありますか？

回答：通常の鍼治療と同じです。沖繩では高齢者が多く95歳の患者さんを治療していますが通電治療で大丈夫です。以前名古屋でガッチリした体格で30歳代後半の患者さんを座位で通電治療をしたところ、「気持ちが悪い」というので側臥位にして治療しました。側臥位での通電治療を勧めます。

質問：通電治療をどのように説明すればいいのでしょうか？

回答：例えば患者さんが思っている以上に刺激があり怖がったり、痛がったりしたときの声のかけ方。

質問：私は「通電治療は今までの鍼治療とマッサージ

治療を一緒にしたのと同じなので、一晩寝て起きると苦痛は軽減していますよ」と説明しています。しかし、恐怖心がある患者さんには通じないことがあります。そのときは無理に治療を継続せず時間をおく必要があります。私たちの鍼は細いので神経組織を刺激しても時間の経過とともに回復曲線に戻ります。鍼治療が神経組織を刺激するのはほんのわずかで、刺激が身体を回復していくための必要な条件と考え、患者さんからの刺激による訴えに対する説明を繰り返し、患者さんに安心してもらえるまでの期間を乗り越えられます。かどうかが、通電治療を続けられる分かれ道になります。

通電治療はヨーロッパ医学にはない最も必要な神経線維への刺激の方法で、今のヨーロッパ医学の弱点を補う治療と考えています。